

平成28年4月25日

学校教育計画(平成28年度～平成31年度)

学校名	県立金沢総合高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・総合学科
-----	------------	------------------	----------

1 学校のミッション

全日制総合学科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に
応えるため、単位制の利点をいかした年次進行を基調としたカリキュラム・マネ
ジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社
会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、共通教科・科目及び専門教科・科目にわたる多様な科目
の中から生徒が主体的に履修したい科目を選択でき、興味・関心や進路希望等に
応じた学習を可能にするという特質をいかし、「系列」に応じた系統性のある学
習の確保に基づいて編成を行う。

これまで、基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用するための力の
育成をめざし、多彩かつ柔軟なカリキュラムと指導計画に基づく教育活動により
全校で計画的・継続的な指導に取り組んできたが、今後はさらに、自ら課題を発
見し解決する力を身に付けるための不断の授業改善を行う等、生きる力の育成に
向けた教育活動の充実に取り組む。

2 学校教育目標

- 基礎学力、問題解決力、コミュニケーション能力の伸長をはかる。
- 考える力、生きる力を身につけさせる。
- 自主的な自己開発を行う広い視野を持ち、人々と共に協働する知的主体を育成する。

3 計画作成時点での課題

- 基礎学力の充実と問題解決力の涵養を目指して、多彩かつ柔軟なカリキュ
ラムと指導計画を作成し、全校で計画的・継続的な指導を行っているが、今後は
具体的な基礎学力向上プランが必要である。
- 学校全体の部活動の活性化として部活動加入率のアップを目指し、指導計画
の確保、生徒の意識向上のための組織的な対応策を確立する必要がある。
- ガイダンスⅠ・Ⅱ・Ⅲの授業を通して、個々の生徒のキャリア発達を促す取
り組みを進めているが、上級学校との連携、インターンシップの活用、参加体
験型活動を通じたキャリア教育の成果を図る手立てについて検討する必要がある。
- 開校13年目を迎え今後10年にむけて、これからの社会に対応できる教育課
程の見直しや、教育環境の整備を進める必要がある。
- 総合学科を支えるガイダンスⅠ・Ⅱ・Ⅲの授業において、人材の育成と内容
の継承を職員の共通認識の下に進めていく必要がある。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新たな教育課程の編成の検討とともに、実施に向けて履修や選択に役立つ教育計画を生徒に示し、学びやすく、個に応じたオープンなカリキュラムを編成する。 ○ 生徒の成就感や達成感を高める授業に向けて、授業改善を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異学年履修の科目の整理を行い、多様な選択科目を維持するとともに、生徒のニーズに合わせて、総合選択科目の編成を見直す。 ・ 家庭と連携し、生徒の生活習慣を確立し、学習への姿勢を向上させ、小テストを実施するなど家庭学習の習慣化を促す。 ・ 生徒による授業評価を活用し、授業公開を行い、校内研修に計画的・継続的に取り組み、より効果的な指導方法を検討する。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の「生きる力」の育成を図るために、生徒の自主性を重んじ、責任ある行動の自覚を促す。生徒の挑戦や、やり直し、自分探しを支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ さまざまな教育活動の中で、生徒が自らの活動の充実感や達成感を得られる取り組みを展開する。部活動や生徒会・学校行事で共同と信頼による生徒主体の取り組みを目指す。 ・ 個別支援を必要とする生徒の情報交換の場を設けるなど教育相談体制の充実に努め、細やかなサポートをすることを目指す。 ・ 道徳教育を踏まえた公共心と規範意識の育成を図るとともに、家庭との連携を深め、ルールやマナーの向上を目指す。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題解決力およびコミュニケーション能力を育てる授業を展開し、キャリア能力の伸長を図る。 ○ ガイダンスや多様な授業、柔軟な学びを活用し、生徒が目指す進路実現を支援する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒のキャリア形成につながるガイダンスⅠ・Ⅱ・Ⅲを中心としたキャリア教育の更なる充実を図る。 ・ 更なるキャリア教育の充実に向けたステークホルダーとの関係の強化を行う。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域や保護者との連携をさらに進め、本校の教育活動を積極的に発信し、広報活動を推進する。 ○ 生徒の防災意識を高め、津波対策にも取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガイダンスⅠ～Ⅲで、積極的に地域の教育資源を活用し、学習活動と地域との連携、協働の充実を図る。 ・ ホームページの充実や学校説明会等の実施により学校の特色をアピールする。 ・ 教育活動全体を通じて防災教育を一層充実させる。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループ業務等の見直しなど、学校運営組織の再編に取り組む。 ○ 職員の事故不祥事の未然防止に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ業務等の見直し、学校運営の再編を含めた具体的な取り組みを推進する。 ・ 事故不祥事の事例を定期的に報告することで未然防止を目指し、教育公務員としての自覚を促す。



教育理念 **新たな知的主体の育成**

学校教育目標

- 基礎学力、問題解決力、コミュニケーション能力の伸長をはかる。
- 考える力、生きる力を身につけさせる。
- 自主的な自己開発を行う広い視野を持ち、人々と共に協働する知的主体を育成する。

学校のミッション

- 生徒の学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することを目指します。
- 生徒が自らの課題を発見し、解決する力を身につけるための不断の授業改善に取り組みます。
- 生徒の興味・関心や進路希望等に応じた多彩かつ柔軟な教育課程を編成します。

ミッション達成に向けた3本の柱

教職員の協力体制

ガイダンスを中心としたキャリア教育の展開

総合学科高校としての柔軟な教育課程の編成と展開

部活動・学校行事への生徒の主体的な取り組み

ガイダンスⅢ（総合的な学習の時間）

- 課題研究
- 成果発表

ガイダンスⅡ（総合的な学習の時間）

- フロンティア学習
- 研修旅行
- プレ課題研究

ガイダンスⅠ（産業社会と人間）

- 総合学科理解
- 履修計画づくり
- 夏の学び
- 働く人にインタビュー
- 年次発表会

- 系列科目・選択科目
- 多彩かつ系統的な「系列」での学び
 - 確かな学力を向上させるための基礎科目・発展科目

- 校外における学修
- 総合学科夏季連携講座、インターンシップ等の学修
 - 高大連携、高専連携による上級学校での学修
 - 技能検定等による単位修得

- 充実した学校生活
- 加入率アップを目指し、全国大会出場の実績を踏まえ、より高いステージを目指した部活動の推進
 - 文化祭、陸上競技大会や健脚大会等における、生徒の主体的な行事運営への参加
 - 学校行事等を通じたホームルーム活動の活性化
 - ホームルーム活動、部活動等を通じた生徒一人ひとりの協働・共生の意識の向上

学校のベース

- 基礎・基本の充実に向けた取組
- 基礎学力の定着
 - 主体性・「生きる力」の向上
 - モラル・マナーの向上

- 信頼される学校に向けた取組
- 事故・不祥事防止
 - 防災計画の充実
 - 教育環境の整備

進路実現に向けた支援体制の充実

社会との連携

積極的な情報発信

教育相談機能の充実

地域との連携

3年次

2年次

1年次

年次進行を基調とした教育活動